

こんにちは
町長です



住民説明会にて

町民の皆様お元気ですか、昨年末から近年にない豪雪に見舞われましたが、二月に入り比較的穏やかな日が続いて、このところ本庁舎の周りでは雪もすっかり消え、春らしさを感じるようになりました。一方で、二月十二日旧溝口町の頃から開催されておりました日光地区協議会の町政懇談会に出席いたしました。日光公民館の周りには、まだまだ多くの積雪が見られ、伯耆町も広くなったことを実感いたしました。

季節の方は春の明るい陽ざしを感じますが、町村財政は更に厳しさを増して明るさが望まれません。四苦八苦しなから平成十八年度の当初予算案がまとまりました。これから議会に説明に入りますが、次号の広報あたりで詳しくお知らせすることになります。今年になりまして三十名近い方がお亡くなりになりました。公務に支障のない限り都合をつけて会葬させていただきますが、公務等により都合のつかない場合は、事前に弔問させていただきます。今年も例年よりなせが多いように感じますが、高齢者の方には今年の寒さが影響しているのかもしれないとお身体にはくれぐれも気を付けて下さい。

二月三日地酒「八郷」の新酒を賞味する会があり参加いたしました。美味しい米どころの酒米と、大山の水で仕込まれた新酒の味は格別でした。これからだんだんと美味しくなるそうです。地産地消大いにPRしたいですね。

住民説明会が開催されました！



住民説明会の様子

二月八日(水)は農村環境改善センターで、九日(木)は溝口公民館で、それぞれ午後七時から約二時間にわたり、第一次伯耆町総合計画及び伯耆町行政改革大綱2005の住民説明会が開催されました。

今月号では、伯耆町行政改革大綱2005の概要について紹介します。(第一次伯耆町総合計画につきましては、次号掲載を予定しています。)

伯耆町行政改革大綱2005

合併して約一年かけて役場職員、管理職の検討会を重ね、議会地方分権改革推進特別委員会を経て、二月に大綱が策定されました。

町の策定背景：

市町村合併に伴ない伯耆町の新たな行政運営のあり方の確立が急務となっており、伯耆町まちづくり計画に基づき、市町村合併のメリットを活かした活力ある地域づくりに取り組むことが現在求められています。

町行政の目指すもの：

地方分権の推進、急激な高度情報化の進展、少子・高齢化の進展などの時代の変化に対応しながら、地域の活性化を図り、個性あるまちづくりを目指していかねければなりません。

基本的視点

- ① 地方分権時代への対応
- ② 高度情報化時代に対応した取組み
- ③ 経営的視点に立つた行財政運営
- ④ 民間活力の導入
- ⑤ 職員の意識改革

町行政をより良くするため
に：

行政評価などの新たな手法等を導入し、簡素で効率的かつ効果的な新しい行財政システムを構築することにより、行政改革大綱を策定します。

改革課題

- ① 住民との協働の推進
- ② 多様で質の高いサービスの提供
- ③ 効果的かつ効率的な事務事業の実施
- ④ 健全な財政基盤の確立
- ⑤ 行政ニーズに迅速かつ的確な対応が可能な組織・機構づくり

行政改革大綱基本枠組み：
表1のように改革課題に沿って推進項目が設定されています。

行政改革大綱2005実施計画(伯耆町集中改革プラン2005)：

それぞれの推進項目にさらに細かく推進事項を設定し、実施年度も併せて実際に取り組む内容や具体的目標、担当課等が詳しく示されています。